

第4回 西部数学サークル 報告

西部数学サークルでは、静岡大学から松元新一郎先生をお招きし、市教研での発表内容の検討や授業研究会での指導案の検討を行っています。

第4回のサークルでは、11/9（水）に附属小学校で行われる市教研での授業内容の検討を行いました。授業は、①1年生「資料の整理と活用」と②2年生「図形」の2つを予定しています。

1年生の授業では、与えられた資料の傾向を代表値を根拠として説明することを目標とした授業を構想しています。ボーリングの場面を設定し、コーチとして3人の選手の中から1人を選ぶというものです。3人の選手の点数の資料をもとに、度数分布表やヒストグラム、代表値などを根拠にして、誰を選んだのかを説明し合う授業を構想しています。

参加された先生方からは、ヒストグラムが1つでよいのか、階級の幅を変えて複数準備したらどうかなど、多くの意見が出されました。

2年生の授業では、これまでに学んできた図形の知識を活用する授業を構想しています。授業者としては、3分割されている線分について、三角形の合同を利用して論証を進める授業を考えています。論証の必要性や、筋道を立てて相手に説明をすることの大切さを感じられるような授業になりそうな予感がします。

平成28年度内に、第5回西部数学サークルの開催を予定しています。多くの先生方の参加をお待ちしています。

